
エピソード

kakio

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

エピソード

【コード】

N9751F

【作者名】

kakio

【あらすじ】

どんな物事にもエピソードはある。

もちろん、どんな物語にでもエピソードはある。

青春の終わりだとか恋の成就だとか結婚だとか離婚だとか人生の終焉だとかその他もろもろ。

俺は結局、「」の居場所を突き止めることはできなかった。

わりと給料のいい仕事を辞め、いい雰囲気までもっていった恋人を放り出し、昨今珍しいほどの中むつましい家族に絶縁されまでののに。だけど、その結果について、後悔しているかというとなんことはまったくくない。なんてことはつきりいえるわけではないけど、今は「ない」と言い切っておきたい。

これほどまでに、あるがままに、思うがままに、望むがままに、生きたことはなかった。探し求めたことはなかった。夢中になったこともなかった。人はある程度生きてくると知らず知らずのうちに限界を定めてしまう。メーターを振り切る前に足を止めてしまう。いいも悪いもそれが現実だ。俺は突っ切ってみせる。

今、俺は日本をヒッチハイクで横断中だ。「」を探して飛び回っているうちに旅の魅力に捕りつかれてしまった。まあ失うものも恐れるものももう何もない。「」も俺みたく、好き勝手に飛び回っているのかもしれない。日本という垣根を越えて世界に飛び出し、探し出せない俺を笑っているのかもしれない。野垂れ死んでるのかもしれない。誰にもそれはわからない。俺でさえ見つけられないのに、他のやつが探し出せるとも思えない。

「お前ってさあ真面目すぎるんだよ。たまには羽目はずせよ。肩肘張ってばかりいないでさあ」

お前みたいになつたらおしまいだよと苦笑いをしていたことがふと頭に浮かぶ。羽目はずすなんてもんじゃねえよ。人生を踏みはずしてしまつたよお前のせいで。

でも、別段かまわない。ズれるならズれるので大笑いしながらコー

スアウトして、とことんズレればいい。ズレてズレてズレまくってまたコースに戻ったとしてもそれはそれでオーケーだ。

とりあえず今は最終地点がどこかなんてのは決まってる。巡り巡ってわけのわからないどこかに辿りつけなければいい。辿りつけなくたっていい。時間はもはや論理外だ。論理すら論理外だ。行く先なんてわからない。先のことなんてわからない。会社内の俺の評判は実直、真面目、堅実、誠実、その他もろもろ。俺がこんな行動をしでかすなんて誰が予想できた？

俺がお前になってるって気づいたよ。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能たんのうしてください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n9751f/>

エピローグ

2011年1月16日06時42分発行